

平成 28 年度事業報告書

社会福祉法人 札幌肢体不自由福祉会

社会福祉法人札幌肢体不自由福祉会は平成23年に設立し、第2種社会福祉事業の生活介護事業所「O・H・G(おはぎ)」、居宅介護(重度訪問介護)事業所「ヘルパーステーションDAI-ふく」と、公益事業の地域共同作業所「ふれあいセンター823」、「ふれあいセンター翔」を運営して参りました。その後、平成25年3月末で「ふれあいセンター823」を閉鎖し、その事業活動を生活介護事業所「O・H・G(おはぎ)」に移行しており、平成27年8月末には「ふれあいセンター翔」を閉鎖し、その事業活動を同年9月開設の生活介護事業所「O・むすび」に移行しており、法人設立時の課題であった地域共同作業所の社会福祉事業化(生活介護事業への移行)が、平成27年度で完了しております。

なお、公益事業の福祉有償運送事業については、当法人の柱でもある社会福祉事業(生活介護事業、居宅介護・重度訪問介護事業)の需要(利用者)の増加により、人的・物的(支援員、運転員、車両)に調整が困難となったことから、平成26年11月より事業の活動を見合わせております。

法人の基本方針及び運営理念に基づいて実施した平成28年度事業の結果について報告します。

1 法人の基本方針

誰もが人として認められ、幸せに生きることができる社会の実現をめざすとともに、地域との結びつきを重視し、利用者及びその家族が地域住民との交流の機会が確保されるよう努めます。

また、事業運営にあたっては、常に福祉サービスを受ける側の立場に立って、個の尊重及び自立支援を基礎に、利用者本位の良質かつ適切な福祉サービスを提供します。

2 運営理念

- (1) 重度障がい児者の尊厳を守るとともに、「利用者本位の運営」を行います。
- (2) 地域の方々との交流を深め、「社会参加の促進」を図ります。
- (3) 重度障がい児者に対する「日常生活の支援」を行います。
- (4) 一般就労が困難な重度障がい児者に対し、「創作的活動の機会」を提供します。
- (5) 当事者団体だからこそできる「思いを形」にします。

【実施事業】

事業名	施設区分	施設種別・施設名	定員
第 二 種 社会福祉 事 業	障害福祉サービス	生活介護事業 O・H・G(おはぎ)	20名
	障害福祉サービス	生活介護事業 O・むすび(おむすび)	20名
	障害福祉サービス	居宅介護事業 ヘルパーステーション「DAI-ふく」	
	障害福祉サービス	重度訪問介護事業 ヘルパーステーション「DAI-ふく」	
	障害福祉サービス	移動支援事業 ヘルパーステーション「DAI-ふく」	

3 役員の状況(定数:理事6名、監事2名)改選:平成29年3月25日(任期:平成29年6月定期評議員会まで)

役職名	氏名	就任年月日	異動	備考
理事長	山内まゆみ	平成23年3月25日	重任	NPO法人理事
理事	我妻武	平成27年3月25日	重任	NPO法人理事長、社会福祉法人理事
理事	中平寛	平成29年3月25日	新任	公益財団法人常務理事(事務局長)
理事	徳永瑞穂	平成29年3月25日	新任	NPO法人事務局長
理事	菊地ひとみ	平成23年8月24日	重任	法人施設長
理事	内海信一郎	平成27年3月25日	重任	法人事務局長
理事	松坂優	平成23年3月25日	退任	任期満了(社会福祉法人理事長)
理事	渡辺あや子	平成25年10月30日	退任	任期満了(NPO法人会長)
監事	齋藤洋介	平成27年6月1日	新任	社会福祉法人職員(副園長)
監事	泉司	平成27年8月5日	新任	一般社団法人常務理事(事務局長)

(役員は平成29年3月31日現在)

4 評議員の状況(定数13名)※社会福祉法の改正により、全員任期満了(平成29年3月24日)で退任

役職名	氏名	就任年月日	異動	備考
評議員	山内まゆみ	平成23年3月25日	退任	NPO法人理事
評議員	松坂優	平成23年3月25日	退任	社会福祉法人理事長
評議員	我妻武	平成23年3月25日	退任	NPO法人理事長、社会福祉法人理事
評議員	渡辺あや子	平成23年8月24日	退任	NPO法人会長
評議員	菊地ひとみ	平成23年8月24日	退任	施設長
評議員	瀧三紀子	平成23年3月25日	退任	利用者家族
評議員	落合正子	平成23年11月28日	退任	元NPO法人理事長
評議員	才野修広	平成27年3月25日	退任	利用者家族
評議員	武藤雅人	平成27年3月25日	退任	会社員
評議員	吉田貫一	平成23年3月25日	退任	会社代表取締役
評議員	花田貴博	平成23年3月25日	退任	有限会社代表
評議員	徳永瑞穂	平成23年3月25日	退任	NPO法人理事
評議員	八島昭雄	平成26年1月30日	退任	住職、青少年育成員、町内会顧問

(評議員は平成29年3月24日時点)

5 新評議員の状況(定数9名)

※社会福祉法の改正により、平成29年4月1日から就任(平成29年2月23日開催の評議員選任・解任委員会において選任)

役職名	氏名	就任年月日	異動	備考
評議員	石川 誠 丈	平成29年4月1日	新任	住職、民生・児童委員
評議員	落合 正 子	平成29年4月1日	新任	元NPO法人理事長
評議員	才野 修 広	平成29年4月1日	新任	利用者家族
評議員	瀧 三紀子	平成29年4月1日	新任	利用者家族
評議員	花田 貴 博	平成29年4月1日	新任	有限会社代表
評議員	松坂 優	平成29年4月1日	新任	社会福祉法人理事長
評議員	武藤 雅 人	平成29年4月1日	新任	会社員
評議員	吉田 貫 一	平成29年4月1日	新任	会社代表取締役
評議員	渡辺 あや子	平成29年4月1日	新任	NPO法人会長

(評議員は平成29年2月23日時点)

6 理事会の開催状況

回数	開催月日	出席者数	議 題 等
第1回	平成28年5月27日 (金)	理事 4名 監事 1名	①平成27年度決算監事監査報告 ②平成27年度事業報告・決算報告 ※全て原案どおり承認、可決
第2回	平成28年12月2日 (金)	理事 6名 監事 2名	①第1・四半期監事監査報告 ②理事長専決事項報告 ③定款の一部変更 ④評議員選任・解任委員会運営規程の制定 ⑤平成28年度上期事業報告 ⑥平成28年度補正予算(第1号) ※全て原案どおり承認、可決
第3回	平成29年2月15日 (水)	理事 5名 監事 2名	①定款変更認可の通知 ②評議員選任・解任委員会運営規程の施行 ③第2、3・四半期監事監査報告 ④経理規程の一部変更 ⑤評議員会・理事会の運営規程の制定 ⑥評議員選任・解任委員会委員の選任及び開催 ⑦次期評議員の候補者 ※全て原案どおり承認、可決

回数	開催月日	出席者数	議 題 等
第4回	平成29年3月14日 (火)	理事 4名 監事 2名	①理事長専決事項報告 ②次期理事・監事の選任結果報告 ③平成28年度補正予算(第2号) ④平成29年度事業計画・予算 ⑤定款細則の一部変更 ※全て原案どおり承認、可決
第5回	平成29年3月25日 (土)	理事 6名 監事 1名	①新理事長の互選 ②理事長の職の代理者の選任 ※全て原案どおり承認、可決

7 評議員会の開催状況

回数	開催月日	出席者数	議 題 等
第1回	平成28年5月27日 (金)	評議員9名 監事 1名	①平成27年度決算監事監査報告 ②平成27年度事業報告・決算報告 ※全て原案どおり承認、可決
第2回	平成28年12月2日 (金)	評議員11名 監事 2名	①第1・四半期監事監査報告 ②理事長専決事項報告 ③定款の一部変更 ④評議員選任・解任委員会運営規程の制定 ⑤平成28年度上期事業報告 ⑥平成28年度補正予算(第1号) ※全て原案どおり承認、可決
第3回	平成29年2月15日 (水)	評議員 8名 監事 2名	①定款変更認可の通知 ②評議員選任・解任委員会運営規程の施行 ③第2、3・四半期監事監査報告 ④経理規程の一部変更 ⑤評議員会・理事会の運営規程の制定 ⑥評議員選任・解任委員会委員の選任及び開催 ※全て原案どおり承認、可決
第4回	平成29年3月14日 (火)	評議員9名 監事 2名	①理事長専決事項報告 ②平成28年度補正予算(第2号) ③平成29年度事業計画・予算 ④定款細則の一部変更 ⑤次期理事・監事の選任 ※全て原案どおり承認、可決

8 監事監査の状況

回数	開催月日	監 査 内 容	意 見
第1回 (決算 監査)	平成28年5月19日 (木) 〔一般事務監査〕 平成28年5月18日 (水) 〔会計監査〕	平成27年度決算監査 ① 理事の業務執行状況 ② 法人の財産管理状況 ③ 法人、施設の業務執行状況 ④ 法人、施設の会計処理状況 ⑤ 施設の運営状況 ⑥ 総括及び細部状況	認定 ①適正 ②適正 ③適正 ④適正 ⑤適正 ⑥適正 『一般事務監査』～特になし 『会計監査』 ・手数料支出の内容により科目を精査して適正に執行すること
第2回 (第1・ 四半期)	平成28年10月3日 (月) 〔一般事務監査〕 〔会計監査〕	平成28年度第1・四半期監査 ① 理事の業務執行状況 ② 法人の財産管理状況 ③ 法人、施設の業務執行状況 ④ 法人、施設の会計処理状況 ⑤ 施設の運営状況 ⑥ 総括及び細部状況	認定 ①適正 ②適正 ③適正 ④適正 ⑤適正 ⑥適正 『一般事務監査』～特になし 『会計監査』～適正に執行されている
第3回 (第2・ 四半期)	平成28年12月13日 (火) 〔一般事務監査〕 平成28年12月12日 (月) 〔会計監査〕	平成28年度第2・四半期監査 ① 理事の業務執行状況 ② 法人の財産管理状況 ③ 法人、施設の業務執行状況 ④ 法人、施設の会計処理状況 ⑤ 施設の運営状況 ⑥ 総括及び細部状況	認定 ①適正 ②適正 ③適正 ④適正 ⑤適正 ⑥適正 『一般事務監査』～ 特になし 『会計監査』 適正に執行されている
第4回 (第3・ 四半期)	平成29年2月3日 (金) 〔一般事務監査〕 〔会計監査〕	平成28年度第3・四半期監査 ① 理事の業務執行状況 ② 法人の財産管理状況 ③ 法人、施設の業務執行状況 ④ 法人、施設の会計処理状況 ⑤ 施設の運営状況 ⑥ 総括及び細部状況	認定 ①適正 ②適正 ③適正 ④適正 ⑤適正 ⑥適正 『一般事務監査』 特になし 『会計監査』 適正に執行されている

9 第三者委員の状況(定数:2名)改選:平成29年3月25日(任期:平成31年3月24日まで)

苦情解決に社会性や客観性を確保し、利用者の立場や状況に配慮した適切な対応を図るために設置。
なお、今年度第三者委員が対応した苦情処理案件は0件。

(1) 第三者委員

氏名	就任年月日	区分	備考
齋藤洋介	平成27年6月1日	重任	社会福祉法人職員、当法人監事
中村康子	平成24年10月31日	重任	大学非常勤講師

(第三者委員は平成29年3月31日現在)

(2) 委員会の開催

第1回委員会【平成28年11月24日(木)】委員2名出席、理事長、施設長、事務局長

案件

- ①平成27年度及び平成28年度上期ヒヤリハット、意見・要望、苦情、事故報告について
- ②意見交換

10 運営会議の開催

法人運営に関して、経営及び運営状況の現状と課題等を把握・検討するとともに、各管理者及び施設等の事業報告、日程調整を行い、法人経営の改善と事業運営の円滑化を図るために実施。

また本年度から、現場の意見が反映でき、かつ法人の運営方針の浸透を図るため、各施設の管理者等を交えた『拡大運営会議』を開催している。

(1) 運営会議

開催月日	出席者	協議事項等
平成28年4月7日 (木)	理事長 施設長 事務局長	①理事会・評議員会・決算監査について ②職員人事について ③新規利用者について ④当面する日程、諸課題の調整
平成28年4月21日 (木)	理事長 施設長 事務局長	①決算監査及びH27年度決算見込みについて ②年間行事日程について ③職員採用の対応について
平成28年5月16日 (木)	理事長 施設長 事務局長	①理事会・評議員会について ②職員採用について ③当面する日程、諸課題の調整
平成28年6月30日 (月)	理事長 施設長 事務局長	①2設管の体制について ②給与振込のデータ伝送について ③職員体制、諸課題の調整
平成28年6月15日 (水)	理事長 施設長 事務局長	①各施設の利用者の状況と職員体制について ②施設管理体制の調整 ③当面する日程、諸課題の調整

開催月日	出席者	協議事項等
平成28年7月4日 (月)	理事長 施設長 事務局長	①高額寄附者への対応、顕彰要綱の制定について ②各施設の利用状況と職員体制について ③当面する日程、諸課題の調整
平成28年7月21日 (木)	理事長 施設長 事務局長	①お盆の休業、管理体制について ②職員研修、施設見学の対応について ③当面する日程、諸課題の調整
平成28年8月8日 (月)	理事長 施設長 事務局長	①ふれあいフェスタの対応について ②社会福祉法の改正に伴う法人規程等の対応について ③当面する日程、諸課題の調整
平成28年8月30日 (火)	理事長 施設長 事務局長	①職員補充対策について ②各施設管理者等の会議の開催について ③H27年度上期事業報告について ④当面する日程、諸課題の調整
平成28年9月1日 (木)	理事長 施設長 事務局長	①ふれあいフェスタの対応について ②各施設の状況について ③当面する日程、諸課題の調整
平成28年9月20日 (火)	理事長 施設長 事務局長	①職員募集(チラシ配布)について ②補正予算について ③第三者委員会の開催について ④当面する日程、諸課題の調整
平成28年10月17日 (月)	理事長 施設長 事務局長	①各施設管理者等の拡大運営会議について ②次回理事会・評議員会について ③定款の変更、法人規定の見直し対応について ④当面する日程、諸課題の調整
平成28年11月2日 (水)	理事長 施設長 事務局長	①各施設の運営状況と課題について ②次回理事会・評議員会の協議案件について ③当面する日程、諸課題の調整
平成28年11月30日 (水)	理事長 施設長 事務局長	①次回理事会・評議員会の協議案件について ②次期役員、評議員、選任・解任委員候補者について ③各施設の運営状況と課題について ④当面する日程、諸課題について
平成29年1月4日 (水)	理事長 施設長 事務局長	①定款変更認可通知と次回理事会・評議員会について ②新年度の新規利用者の見込みと職員体制について ③意見交換会について ④当面する日程、諸課題の調整
平成29年2月2日 (木)	理事長 施設長 事務局長	①次回理事会・評議員会の協議案件について ②職員体制について ③当面する日程、諸課題の調整
平成29年3月10日 (金)	理事長 施設長 事務局長	①次回理事会・評議員会の協議案件について ②次期役員体制について ③当面する日程、諸課題の調整

(2) 拡大運営会議

開催月日	出席者	協議事項等
平成28年12月6日 (火) ※拡大運営会議	理事長 施設長 事務局長 各施設管理者・チーフ	①拡大運営会議のあり方について ②社会福祉法の改正に伴う法人対応について ③上期の事業経過、予算執行状況について ④各事業所の運営状況と課題について ⑤当面する日程、諸課題の調整
平成29年2月23日 (水) ※拡大運営会議	理事長 施設長 事務局長 各施設管理者・チーフ	①H28年度決算見込みについて ②新年度事業計画、予算方針について ③各施設の次年度の活動目標と予算要望について ④各施設の状況と課題、対応策について ⑤当面する日程、諸課題の調整

11 常勤職員会議、スタッフ会議の開催

(1) 常勤職員会議

施設長と各事業所の常勤支援員を対象に、状況に応じて看護職、運行管理員、事務局も加わり、毎月1回、事業所ごとに開催。(O・H・Gは第3金曜日、O・むすびは第2水曜日)このほか、2施設合同の常勤会議も開催。

各事業所における行事及び利用者の状況等の確認とスタッフ会議に向けた案件の検討を行うとともに、「ヒヤリハット」案件の報告と課題や事故再発防止対策の検討、並びに利用者の処遇及び事業所の運営上重要な事項の連絡を行い、常勤支援員の連携と情報の共有化を図っている。

また、2施設合同の常勤会議では、各施設の状況報告、課題の提供を行うことで、施設間の情報の共有化を図るとともに、合同の行事等の検討、調整を行い、各施設の連携も図っている。

(2) スタッフ会議

各施設の支援員、看護職員を対象に、状況に応じて運行管理員、事務局も加わり、施設ごとに月1回開催。(O・H・Gは第4月曜日、O・むすびは第2金曜日)

行事、連絡事項の伝達のほか、利用者の処遇や行事・送迎・入浴などサービス提供に関する課題の検討及び「ヒヤリハット」案件の報告と課題や防止対策の共有化を図るとともに、職員の勤務体制並びに事業所内の衛生保持に関する事などについて検討している。また、外部研修等の報告及び事例発表を行うことで、技術の向上や事故予防意識を醸成するとともに、各利用者の現状と活動上の課題等を把握し、職員間での現状認識の統一及び知識、技術の共有化を図っている。

12 職員の配置状況

※()は外数で兼務職員

所 属	職 種	H28年 3月末日	H28年 4月1日	増	減	H29年 3月末日	備 考
本部事務局 (事務局長含む)	正職員	(1) 3	4	0	0	4	
	準職員	0	0	0	0	0	
	非常勤職員	0	0	0	0	0	
	計	(1) 3	4	0	0	4	
生活介護事業 O・H・G(おほぎ) (管理者含む)	正職員	2	4	0	0	4	
	準職員	6	4	1	0	5	
	非常勤職員	12	12	2	1	13	
	計	20	20	3	1	22	
生活介護事業 O・むすび(おむすび) (管理者含む)	正職員	4	(1) 4	0	0	(1) 4	H28.10～
	準職員	3	1	1	1	1	派遣1名
	非常勤職員	11	12	4	3	13	
	計	18	(1) 17	5	3	(1) 18	
居宅介護事業 (重度訪問介護) DAI-ふく	正職員	(1) 1	(1) 1	0	0	(1) 1	
	準職員	(3) 1	(3) 1	0	0	(3) 1	
	非常勤職員	0	0	0	0	0	
	計	(4) 2	(4) 2	0	0	(4) 2	
法人全体	正職員	(2) 10	(2) 13	0	0	(2) 13	H28.10～
	準職員	(3) 10	(3) 6	2	1	(3) 7	派遣1名
	非常勤職員	24	24	6	4	26	
	合 計	(5) 43	(5) 43	8	5	(5) 46	

※H28.4.1付け異動者:正職員(1名:O・H・G→本部兼O・むすび、O・むすび→O・H・G)

※H28.4.1付け正職員登用者(準職員より):(O・H・G)2名、(O・むすび)1名

なお、準職員から正職員への登用に対し、労働局の助成事業(キャリアアップ助成金)を申請している。

※H28.4.1付け身分変更者:準職員→非常勤職員へ、1名(O・むすび)

※上記以外のH28年度途中採用者8名:準職員2名～職種内訳:支援員(O・H・G、O・むすび各1名)

非常勤職員6名～職種内訳:支援員1名(O・むすび)、看護師2名(O・H・G、
O・むすび各1名)、送迎員3名(O・H・G1名、O・むすび2名)

※上記以外のH28年度途中退職者:準職員1名、非常勤職員4名の計5名

(職種内訳:支援員3名、看護師2名(O・むすび)、事由内訳:期間満了2名、自己都合3名)

※H28.3.31付け退職者:非常勤職員2名(O・H・G)(内訳:支援員1名、送迎員1名、契約期間満了2名)

13 職員研修の状況

【内部研修】

研修名	開催月日	開催場所	担 当	出席者数
安全運行の意識の向上	7 月中	〇・むすび	運行管理員	1 名

【外部研修】

研修名	開催月日	開催場所	主 催	出席者数
防火・防災管理者講習	4 月 12 日(火) 13 日(水)	札幌市防災センター	札幌市	1 名
新任介護職員研修	5 月 26 日(木) 27 日(金)	かでの2・7	北海道社会福祉協議会	1 名
介護職員専門研修	6 月 14 日(火) 15 日(水)	かでの2・7	北海道社会福祉協議会	1 名
社会福祉法人経営者セミナー	7 月 7 日(木)	東京ドームホテル	北海道社会福祉協議会	1 名
重症心身障害日中活動支援協議会研修	7 月 30 日(土)	緑ヶ丘療育園	重症心身障害日中活動支援協議会	1 名
リスクマネジメント研修	8 月 1 日(月)	かでの2・7	北海道社会福祉協議会	1 名
安全運転管理者講習	8 月 3 日(水)	札幌千代田ビル	あいおいニッセイ同和損保	2 名
障がい者差別禁止法研修	8 月 5 日(金)	社会福祉総合センター	札幌市	1 名
メンタルヘルス研修	8 月 9 日(火) 10 日(水)	かでの2・7	北海道社会福祉協議会	1 名
集団指導	8 月 24 日(水)	WEST19	札幌市	2 名
社会福祉法改正セミナー	8 月 24 日(水)	かでの2・7	税理士法人さくら総合会計	2 名
社会保険事務講習会	8 月 26 日(金)	札幌ガーデンパレス	札幌西社会保険委員会	1 名
社会福祉法人制度改革の施行に向けた説明会	8 月 29 日(月)	すみれホテル	札幌市	2 名
社会福祉法人ブロック研修会	9 月 2 日(金)	第二水産ビル	北海道社会福祉協議会	1 名
介護職員専門研修	9 月 8 日(木) 9 日(金)	かでの2・7	北海道社会福祉協議会	1 名
サービス等利用計画とセルフプランの現状と課題	11 月 12 日(土)	ちえりあ	社会福祉法人アンビシャス	3 名
安全運転管理者等講習会	11 月 25 日(金)	ホテルヤマチ	北海道公安委員会	1 名
介護職員専門研修	12 月 1 日(木) 2 日(金)	かでの2・7	北海道社会福祉協議会	1 名

研修名	開催月日	開催場所	主催	出席者数
虐待防止研修	12月13日(火) 14日(水)	かでの2・7	北海道	1名
集団指導	12月13日(火)	市民ホール	札幌市	3名
抗てんかん薬の調整と副作用	1月19日(日)	緑ヶ丘療育園	札幌地区重症心身障害 児(者)を守る会	4名

※内部研修、外部研修参加後には、報告書を提出しスタッフ会議などで内容を報告。

【個別面談】※個別面談は、原則理事長と施設長で実施

実施期間	対象職員
4月22日～	全職員

【新人研修】※原則該当職員の個別面談時に実施

当法人の運営方針の理解、及び職員としての倫理、接遇などを行う。

実施期間	対象職員
6月10日	佐々木伸一郎
11月16日	岡 真紀、柳原仁美
12月19日	渡部大輔

【資格取得研修】

研修名	開催月日	開催場所	講義内容等	参加数
通信課制 実務者研修講座 H28(5月生)実務者研修	H28.5.1～H28.10.31 スクーリング⇒6/12(日) ～9/18(日)	日本福祉 アカデミー 札幌校	通信学習(H28.5～H28.8) 通学:介護課程Ⅱ、医療的ケ アの計8回	1名

※「社会福祉士通信課程」は準職員(有期契約職員)受講のため、労働局の助成事業(キャリアアップ助成金)を活用している。

14 監査、運営指導等

- (1)札幌市による社会福祉法人の指導監査及び障害福祉サービス事業者等に対する実地指導
本年度は、監査・運営指導の対象となっていない

15 職員の事故等の状況

- (1)業務中の事故等

- ①事業所内 0件
②その他 1件(その他の症状は、私事の事故によるケガによるものである。)

- (2)感染症等による体調不良

- ①感染症 1件(インフルエンザ)

16 各事業運営の状況

1. 支援方針及びサービス内容に関して

(1) 個別支援計画の作成

毎日の記録の作成及び支援会議内における利用者個々の検討の積み重ねにより、利用者及び家族のニーズに沿った支援を行うことが出来るよう、計画の作成に努めている。

相談支援事業所によるサービス利用計画の作成がなされるようになったため、外部の相談支援事業所とのやり取りが増え、個別支援計画の作成にも反映されてきている。

(2) 食事サービスの提供

給食は、前年度と同様に週3回(月、水、木)実施している。

給食が提供されない火・金曜日は、お弁当屋さんからの購入や、散歩を兼ねて近くの店へ買い物に行く等の対応を行っている。

弁当の購入は、利用者にとっても非常に楽しみな時間となっており、また、業者の方との会話やお金の受け渡しなど、社会との貴重な接点となっており、社会性を養う上で大切な体験となっていることから、今後もこの給食提供の体制を続けていく考えである。

(3) 入浴サービスの提供

入浴は、週5日(月～金曜日)実施している。男性と女性を午前と午後に分けて対応している。

個人個人の希望に合わせた入浴介助を基本とし、利用者同士や職員とのコミュニケーションを楽しみながらゆったりと入浴できるように努めている。

また、感染症(白癬菌等)の対応が必要な利用者が増えてきたことから、利用時間の調整やタオルの管理など衛生面での対応に充分注意して実施している。

障がいの状況の変化等により、入浴介助が難しくなっている利用者もおり、浴室内の環境整備や入浴機器の導入などの検討が課題となっている。

利用者の体重の増加などにより、入浴用車椅子のぐらつきが大きくなり、不安を感じながら入浴介助を行っていたが、今年度、大友財団より今までの物よりも耐荷重の大きい入浴用車椅子2台の寄贈を受けたことで、入浴時の不安解消になった。

また、人数的にはまだ少ないが、当事業所でのみ入浴しているという利用者に対して、現状で出来るサービスの提供を検討していく必要がある。

(4) 送迎サービスの提供

送迎に関しては、2つの事業所で送迎範囲を決めることで市内全域送迎を維持している。

利用者のほとんどが送迎を希望しているため、送迎車の増車とドライバーの確保が課題となっており、今後も送迎車の整備が急務となっている。

また、ドライバーの資質の向上と職員間の連携を図るため、会議や研修を実施し、利用者との関係づくりや安全で安心して利用できる送迎サービスの提供に努めている。

今年度、中古車1台、新車1台の寄贈を受けたことで、送迎車の台数は14台となり台数としては満たされてきたが、車椅子ごと乗車できる人数が少ないことが課題として残っている。

古くなってきた送迎車の整備にも費用がかかってきており、入替を考えなければならない時期に来ている車両もあることから、今後も送迎車の確保に努めなければならない。

(5) 健康管理及びバイタルチェック

看護師を中心に、毎日の健康管理を行っている。

投薬の管理については、職員間でのチェックを行うなど、誤薬や飲み忘れの防止に努めている。

各業務のマニュアルを作成し、事業所内の衛生管理も行っている。

特にノロウイルス発生時のマニュアルの見直しや、マニュアルにあるような動きができるようにするための研修の実施が課題となっており、実際に行動内容を確認するための打ち合わせを行っている。

(6) 創作的活動及び生産活動(布製品等の小物類の製作)、余暇活動

生産活動に関しては、利用者の身体機能や嗜好に合わせて、縫い物だけではなく、誰でも参加できる内容の作業を取り入れている。

利用者の身体状況を見ながら作業量を調整するように配慮しているが、頑張りすぎてしまう利用者もいるため、休憩が取れるよう職員からの声掛けや、違う作業に参加してもらったりなど、気分転換を図りながら対応している。

日中活動の中で使用するゴミ袋丸め等の軽作業や、レクリエーションのまとめ等の作業もメニューに取り入れることで、利用者同士のやり取りが増えるような場面を多くしている。

午前と午後の活動内容も数種類に分け、利用者の希望や考えで活動に参加してもらうようにしてきており、作業のみではなく、利用者同士や職員との関わりを持つ時間も大切にしながら進めている。昼休みなどには、同じ趣味を持っている利用者が集まって会話を楽しむ様子も毎日のように見られている。

ゆっくりではあるが、利用者が集団生活の中で待つことが出来たり、自分の気持ちを押さえたりすることが出来るようになってきており、成長してきている様子が見られている。

また、自分でできることを時間をかけて行ってもらうことで、自信をもって行動することができるように促している。

土曜のレクリエーションに関しては、内容をバラエティーに富んだものにし、外出する機会も多く作るなどしていることで、参加者が多くなっている。調理を伴うレクリエーションや外出するレクリエーションには参加希望者が多く、同じレクリエーションを2回行うなどして参加人数の調整を図ることもある。外出するレクリエーションでは、職員体制を確保するために、2事業所合同での実施も行っている。

今年度も郊外散策ということで、送迎車を使って出かけるレクリエーションを5月から9月の間に4回企画し、延べ58名が参加した。意見交換会で行きたい場所を出してもらったものをもとに行先を決めるなど、利用者が関わりを持つことが出来るようにしている。

(7) 身体機能及び日常生活能力の維持・向上のための支援

側弯や痙性の強さなど利用者の身体状況を考え、昼休みや午後の活動の中で、車いすから降りて横になる時間を作るようにしている。

また、午後の活動の前にラジオ体操を取り入れ、心身の緊張を和らげ、午後の活動への気持ちの切り替えを促すような対応を行っている。

なるべく現状の身体機能を維持していただくため、その日の利用者の体調を考慮しながら、自分でできることは時間をかけてでも行ってもらおうよう心がけながら支援をしている。

呑み込みや呼吸などの面で不安が出てきている利用者もいるため、外部の医療機関や言語療法士、看護師などとの連絡を密にして対応している。

(8) 社会参加の促進

今年度は、それぞれの事業所がある地域で赤い羽根共同募金の街頭募金活動に参加し、積極的に社会とのかかわりを進めている。

社会貢献の一環として、地域のゴミ拾いなども散歩を兼ねて行うことを通して、町内の皆さんに理解を深めていただくよう努めている。

生活介護事業所「O・むすび(おむすび)」では、町内会のゴミステーションの清掃や雪投げの当番に入り、町内会の構成員として活動している。

また、生活介護事業所「O・H・G(おはぎ)」では、同じ町内会にある保育所の年長児童が事業所を訪れ利用者との交流を行い、児童の障害者理解を深める機会となった。

(9)生活相談

利用者及び保護者の生活に関する相談に対しては、常に対応できるようにしている。

ヘルパーステーションと協力しながら、利用者が希望する施設見学を設定し同行することなどを通して、利用者の今後の生活に結びつく支援ができるようにしている。

(10)その他

保護者同士の情報交換の場として、保護者交流会を実施した。その中で、先輩の保護者の経験談を聞くことで、今必要としている情報等について、知らなかった情報を教えてもらうなどの交流が図られていた。

また、今後の事業の展開として、どのようなサービスを利用者や保護者が求めているのかを調査しながら、現状で出来る他のサービス内容を検討していくことが課題である。

2. 利用者の状況(平成 29 年 3 月末現在)

昨年度よりも利用者が、生活介護事業所「O・H・G(おはぎ)」では 4 名、生活介護事業所「O・むすび(おむすび)」でも 4 名増えている。

障害支援区分は、昨年度末と変わっておらず、最も重度な支援区分 6 の利用者が圧倒的に多い状況となっている。

稼働率としては、生活介護事業所「O・H・G(おはぎ)」が 69.9%(前年度 84.0%)、生活介護事業所「O・むすび(おむすび)」が 84.8%(前年度 72.1%)となっており、重度の利用者が多いため体調不良でのお休みが多いこととお休みの期間が長いことが課題となっている。

※前年度 9 月に生活介護事業所「O・むすび(おむすび)」が出来、生活介護事業所「O・H・G(おはぎ)」の利用者が異動したため、生活介護事業所「O・H・G(おはぎ)」の稼働率は前年度よりも下がっている。

ヘルパーステーション DAI-ふくでは、契約者数は横這いだが、利用回数は年々増えている。

相談支援事業所からの問い合わせも寄せられているが、ヘルパーの人数が少なく、利用希望時間が重なることが多いため、対応できない状況である。

※生活介護事業所「O・H・G(おはぎ)」

*定員 20名

*契約者数 38名(男性 20名、女性 18名)

10代	20代	30代	40代	50代	60代
2名 (男1・女1)	22名 (男14・女8)	5名 (男3・女2)	8名 (男2・女6)	0名 (男0・女0)	1名 (男0・女1)

*障害支援区分(3月末平均障害支援区分 5.3)

区分	2	3	4	5	6
人数	0名	3名	1名	9名	25名

※生活介護事業所「O・むすび(おむすび)」

*定員 20名

*契約者数 32名(男性 15名、女性 17名)

10代	20代	30代	40代	50代	60代
5名 (男2・女3)	13名 (男6・女7)	13名 (男7・女6)	1名 (男0・女1)	0名 (男0・女0)	0名 (男0・女0)

*障害支援区分(3月末平均障害支援区分 5.2)

区分	2	3	4	5	6
人数	0名	1名	5名	9名	17名

※ヘルパーステーション DAI-ふく

居宅介護事業契約者数 16名

移動支援事業契約者数 20名

重度訪問介護契約者数 4名

3. 利用状況(平成29年3月末現在)

※生活介護事業所「O・H・G(おはぎ)」

*平均利用人数 35名/月

区分	2	3	4	5	6	合計
月平均利用人数	0名	3名	2名	7名	23名	35名
月平均利用総日数	0日	28日	19日	83日	173日	303日

*平均開所日数 22日/月

*開所日平均利用人数 14名/日

※生活介護事業所「O・むすび(おむすび)」

*平均利用人数 31名/月

区分	2	3	4	5	6	合計
月平均利用人数	0名	1名	4名	9名	17名	31名
月平均利用総日数	0日	13日	70日	109日	176日	368日

*平均開所日数 22日/月

*開所日平均利用人数 17名/日

※ヘルパーステーション DAI-ふく

居宅介護事業平均利用回数 41回/月

移動支援事業平均利用回数 25回/月

重度訪問介護平均利用回数 11回/月

4. 平成 28 年度の活動

月	日	曜	活動内容	月	日	曜	活動内容
4 月	1	金	おむすび新利用者歓迎式	5 月	11	水	合同常勤職員会議
	4	月	おはぎ新利用者歓迎式		14	土	おはぎレク(シュガースクラブ作り)
	9	土	おはぎレク(肉まん作り) おむすびレク(オムライス作り)		18	水	おむすび第 9 回常勤職員会議
	11	月	おむすび保護者会		20	金	おむすび第 9 回スタッフ会議
	13	水	おむすび第 8 回常勤職員会議		27	金	おはぎ第 59 回常勤職員会議
	15	金	おはぎ保護者会 おむすび第 8 回スタッフ会議 ドライバー会議		28	土	郊外散策(三井アウトレットモール)
	19	火	合同常勤職員会議		30	月	おはぎ第 62 回スタッフ会議
	22	金	おはぎ第 58 回常勤職員会議				
	23	土	おはぎレク(ウッドプレート作り) おむすびレク(ランチバイキング)				
	25	月	おはぎ第 61 回スタッフ会議				
6 月	1	水	合同常勤職員会議	7 月	2	土	真養おやじの会出店
	7	火	ダスキン清掃奉仕受入(おはぎ)		4	月	吉田学園チャリティーコンペ出店
	8	水	ドライバー会議		9	土	おはぎレク(アイスクリーム作り) おむすびレク(うどん作り)
	15	水	おむすび第 10 回常勤職員会議		13	水	おむすび第 11 回常勤職員会議
	16	木	コカ・コーラファンデーご招待		14	木	おはぎ消防設備点検
	18	土	合同運動会		15	金	おむすび第 11 回スタッフ会議
	20	月	おむすび保護者交流会 おむすび第 10 回スタッフ会議		19	火	合同常勤職員会議
	21	火	おはぎ保護者交流会		22	金	おはぎ第 61 回常勤職員会議
	24	金	福祉有償運送協議会 おはぎ第 60 回常勤職員会議		23	土	郊外散策(円山動物園) トヨタハートフルフェアー出店
	25	土	おはぎレク(オカリナ演奏) おむすびレク(お菓子作り)		24	日	トヨタハートフルフェアー出店
27	月	おはぎ第 63 回スタッフ会議	25	月	拓北サマーフェスタ出店 おはぎ第 64 回スタッフ会議		
30	木	イエローレシート贈呈式					
8 月	2	火	合同常勤職員会議	9 月	3	土	楡の会秋まつり出店
	10	水	ドライバー会議		10	土	おはぎレク(お寿司食べ放題) おむすびレク(BBQ)
	18	木	おむすび第 12 回常勤職員会議		13	火	合同常勤職員会議
	19	金	おむすび第 12 回スタッフ会議		14	水	おむすび第 13 回常勤職員会議
	23	火	合同常勤職員会議		16	金	おむすび第 13 回スタッフ会議
	26	金	おはぎ第 62 回常勤職員会議		17	土	みなくるフェスティバル出店 ぴあとぴあ秋まつり出店
	27	土	郊外散策(つきさむ温泉) ユアホームサービス福祉まつり出店		21	水	おはぎ第 63 回常勤職員会議
	29	月	おはぎ第 65 回スタッフ会議		24	土	郊外散策(小樽散策) 豊成ふれあいフェスタ出店
	31	水	おむすび消防設備点検		26	月	おはぎ第 66 回スタッフ会議
					28	水	合同常勤職員会議

月	日	曜	活動内容	月	日	曜	活動内容
10 月	1	土	トヨタハートフルフェア出店	11 月	5	土	拓養祭出店
	2	日	トヨタハートフルフェア出店		7	月	北翔学校祭出店
			すし研出店		12	土	合同常勤職員会議
	4	火	おはぎ赤い羽根街頭募金活動参加				レクレーション（合同）
			おむすび赤い羽根街頭募金活動参加				（発寒イオンお買い物レク2回目）
	5	水	ドライバー会議		15	火	おむすび第15回常勤職員会議
	9	日	ふれあいフェスタ		18	金	おむすび第15回スタッフ会議
	12	水	おむすび第14回常勤職員会議		21	月	合同常勤職員会議
	14	金	おむすび第14回スタッフ会議		24	木	おはぎ第65回常勤職員会議
	17	月	大友財団贈呈式（入浴用車椅子）		26	土	おはぎレク（読み聞かせレク）
	19	水	おはぎ第64回常勤職員会議				おむすびレク（アメリカレク）
22	土	レクレーション（合同）	28	月	おはぎ第68回スタッフ会議		
		（発寒イオンお買い物レク1回目）					
24	月	おはぎ第67回スタッフ会議					
27	木	合同常勤職員会議					
12 月	2	金	真駒内養護学校高等部祭出店	1 月	7	土	父母の会成人式
	5	月	合同常勤職員会議		14	土	おはぎレク（運動不足解消レク）
	7	水	ドライバー会議				おむすびレク（レジレク）
	9	金	年末レク（合同）				おはぎ避難訓練
	14	水	おむすび第16回常勤職員会議		18	水	おむすび第17回常勤職員会議
	16	金	おむすび第16回スタッフ会議		20	金	おむすび第17回スタッフ会議
	21	水	おはぎ第66回常勤職員会議		25	水	おはぎ第67回常勤職員会議
	24	土	おはぎレク（クリスマスレク）		28	土	おはぎレク（ひと月遅れのクリスマスレク）
		おむすびレク（ピザ作りレク）			おむすびレク（雪遊びレク）		
26	月	おはぎ第69回スタッフ会議	30	月	おむすび避難訓練		
					おはぎ第70回スタッフ会議		
2 月	13	月	おむすび第18回常勤職員会議	3 月	7	火	送迎車（サンシャイン号）贈呈式
	17	金	おむすび第18回スタッフ会議		11	土	おはぎレク（エプロンシアターレク）
	20	月	おはぎ第68回常勤職員会議				おむすびレク（メイクレク）
	25	土	おはぎレク（春のリース作りレク）		15	水	おむすび第19回常勤職員会議
			おむすびレク（巻物レク）		22	水	おはぎ第69回常勤職員会議
	27	月	おはぎ第71回スタッフ会議		25	土	おはぎレク（音楽レク）
	28	火	合同常勤職員会議		29	水	おむすびレク（紙相撲レク）
			31	金	合同常勤職員会議		
					おはぎ第72回スタッフ会議		
					おむすび第19回スタッフ会議		

*この他にも、各事業所でのケア会議を随時実施。また、外部でのケア会議等にも積極的に参加。

4. 実習、見学等受け入れ

おはぎでは拓北養護学校高等部生5名と真駒内養護学校高等部生1名、一般成人1名の実習を受け入れた。また、おむすびでは、拓北養護学校高等部生1名と真駒内養護学校高等部生1名の実習を受け入れた。

見学については、利用希望者や保護者、養護学校PTA、養護学校教員、専門学校生、相談支援事業所等の受け入れを行った。

5. ヒヤリハット、事故件数

*ヒヤリハット総数 8件

*ヒヤリハット月別・発生場所別内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
浴室・脱衣所	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	4
トイレ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
活動室内	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4
玄関前	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	2	1	0	1	0	2	0	0	0	1	0	8

※ 最近の傾向として、利用者のとっさの行動に、職員が対応しきれなかった場面や利用者の身体状況の変化による、今までの動きとの差異に職員が対応しきれないことでのヒヤリハットの発生が多くみられる。

そのため、今まで以上に今後の対策の話合い等を職員間で重ねることで、施設内での転倒防止、送迎時の事故防止、入浴時・排せつ時の事故防止及び外出時の事故防止に努め、特に配慮を要する利用者への見守りや支援に関しては、職員間で情報を共有し、再度支援に対する共通理解を図っている。

また、毎月行うスタッフ会議で確認を行い、指導を行っている。

*事故件数 10件

*事故月別・発生場所別内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
浴室・脱衣所	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
トイレ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
活動室内	0	1	1	0	2	0	1	0	0	0	1	0	6
玄関前	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
洗面所	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
外出先	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	1	1	1	1	4	0	1	0	0	0	1	0	10

*事故内容

- ・こだわりの強い利用者が、見えないところへ遠ざけた急須を見つけ叩きつけた。
- ・利用者がロッカーの引き出しを開け、手をついたため倒れてきた。
- ・脱衣場のベッドで、トイレ用具を取っている間に、利用者の額がベッド柵に接触した。
- ・洗面所でおしぼりを絞っている時に、利用者の腕に緊張が入り、横にあった意見箱の底に腕が押し付けられてしまった。

- ・トイレで立ち上がりの介助をした際に、利用者の膝に力が入らず床に座り込んだ。
- ・活動室内を職員と一緒に歩行中、つまずいて両膝をついた。
- ・外出行事で、送迎車から降り利用者が自分で電動車いすの方向を変えようとしたところ路面の傾斜で車いすが後ろに倒れた。
- ・歩行中に靴のマジックテープがきちんと止まっていないことに気を取られ、体重が前にかかり、膝をついた。
- ・おもちゃのタンバリンを握って壊してしまった。
- ・食器棚のガラス戸を、手のひらで叩き割った。

※ 報告書を基に、職員間で事故が発生した状況を確認し合い、注意の徹底を再度行い、危険個所の改善、活動中での危険性のある場面の検証を行い、職員間で事故に至らないための対応を検討し、共通理解を図っている。

また、事故報告書の作成の流れ及び対応の検討について、全職員間で考え、考えを統一していくことを再度確認している。

なお、毎月行うスタッフ会議で確認を行い、指導を行っている。

6. 売り上げ及び工賃支払状況

*売り上げの状況と工賃の支払い状況

月	売り上げ額	材料費	残 額	工賃支払額
4月	32,034	25,383	6,651	117,800
5月	48,065	72,844	△24,779	119,600
6月	41,031	87,430	△46,399	134,400
7月	206,350	47,676	158,674	124,600
8月	60,290	9,607	50,683	119,400
9月	90,838	17,012	73,826	128,400
10月	134,670	12,535	122,135	119,800
11月	148,257	79,504	68,753	126,400
12月	43,577	9,890	33,687	115,400
1月	34,545	22,778	11,767	116,800
2月	35,325	8,981	26,344	128,000
3月	32,317	6,106	26,311	140,000
合 計	907,299	399,646	507,653	1,490,600

市内の養護学校や施設の行事等での出店及び元気ショップでの委託販売を中心に販売活動を行った。

7月の吉田学園のチャリティーゴルフコンペ表彰式でのチャリティー販売による売り上げ、10月のふれあいフェスタでの売り上げ、11月の障がい者の日の記念品の受注による売り上げが大きかった。

工賃については、O・H・G（おはぎ）、O・むすびで、一律1日200円の工賃を支給した。

（行事、レクレーション時は除く）